

～子どもも大人も一緒に「戦争」について考える～  
**朗読を通して「戦争」を考えるワークショップ**  
**参加者募集のお知らせ**

水戸芸術館専属劇団 ACM の塩谷 亮を講師に、声のブラッシュアップを目指す体験型ワークショップ「伝わる声の作り方」。その番外編として昨年開催し好評をいただきました、「戦争」を考えるワークショップを、2024年夏も開催いたします。

太平洋戦争で水戸が空襲を受けた8月2日や8月15日の終戦記念日を前に、『水戸空襲戦災誌』(\*)の朗読を通して、子どもも大人も一緒に「戦争」について考えながら、発声の基礎や朗読の練習をした後、最後にACM劇場の舞台上で発表会を行います。

つきましては、ぜひ貴媒体にてご取材・ご掲載くださいますようお願い申し上げます。

### <企画概要>

**7月2日(火) 10:00 より募集開始**

【企画名】伝わる声の作り方 番外編「朗読を通して『戦争』を考えるワークショップ」

【日時】7月27日(土)、28日(日) 各日 13:30～17:00

【会場】水戸芸術館 ACM 劇場

【講師】塩谷 亮 (劇団 ACM)

【対象】小学3年生～大人の2名1組(1名でご参加の場合、参加者同士でペアを組んでいただきます)

【定員】各日6組(計12名) ※受付は申込順。

【参加費】無料

【持ち物】動きやすい服装、上履き(スリッパ不可)、飲み物(蓋が閉まるもの)、筆記用具

【発表会】入場無料でどなたでもご覧いただけます。各日 16:00～17:00(10分前開場)

【募集期間】7月2日(火) 10:00～開催前日 18:00 ※各回定員に達し次第受付終了。

【申込方法】

[電話] 水戸芸術館 ACM 劇場 ワークショップ係 Tel. 029-227-8123 (10:00～18:00 / 月曜休館)

[Web フォーム] <https://www.arttowermito.or.jp/form/acm/>



※朗読するテキスト：『水戸空襲戦災誌』

私たちが住む水戸市も、太平洋戦争終戦間際の昭和20年8月2日未明、アメリカ軍による大規模な空襲を受けました。

本書は、水戸空襲を体験した市民180人の証言を記録。戦火を逃げ惑う人々の様子や突然の惨劇に激しく揺れ動く彼らの心情が、まさにその時を生きた証として克明に書き記されています。



Web ページはこちら→

【お問合せ】企画について : 水戸芸術館 演劇部門 (担当: 菊池) Tel. 029-227-8123

ご取材・ご掲載について: 同 広報係 (担当: 川崎) Tel. 029-227-8111

E-mail. [kouhou@arttowermito.or.jp](mailto:kouhou@arttowermito.or.jp)

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>